

J Aバンク新潟における地域密着型金融の取組状況（平成 24 年度）

J Aバンク新潟（県下 J A と新潟県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク新潟中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 24 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、お知らせいたします。

＜目 次＞

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク新潟の農業メインバンク機能強化への取組み）	．．．．． P 2
2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援	．．．．． P 5
3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した 資金供給手法の提供	．．．．． P 6
4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等 地域育成への貢献	．．．．． P 7

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

(JAバンク新潟の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク新潟は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク新潟は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成25年3月末時点のJAバンク新潟の農業関係資金残高^(注1)は95,198百万円(うち農業経営向け貸付金46,558百万円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は28,001百万円を取扱っています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク新潟が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

	25年3月末現在
農業	46,558
穀作	20,833
野菜・園芸	3,860
果樹・樹園農業	1,190
工芸作物	374
養豚・肉牛・酪農	1,534
養鶏・鶏卵	273
養蚕	-
その他農業	18,489
農業関連団体等	48,640
合 計	95,198

(注)

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	25年3月末現在
プロパー資金	76,843
農業制度資金	18,354
農業近代化資金	5,009
その他制度資金	13,345
合 計	95,198

(注)

- 1 プロパー資金とは、J Aバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJ Aバンク新潟が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	25年3月末現在
日本政策金融公庫資金	27,993
その他	7
合 計	28,001

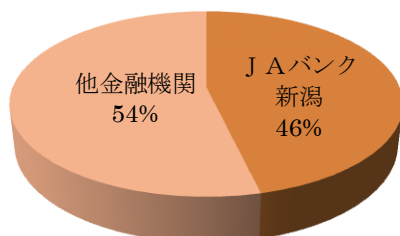
(注) J Aバンク新潟では、主にはJ Aを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

J Aバンク新潟は主要な農業関係の制度資金である、日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【新潟県の日本政策金融公庫受託貸付のシェア】

出所：(株)日本政策金融公庫

農林水産事業「業務統計年報」 (平成25年3月末)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク新潟では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内26 J Aの本店には47人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

信連では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

【具体的取組事例】

○ 農業資金に関する研修会

J Aの信用担当職員と営農・経済事業職員を対象に、農業資金に関する知識を取得するための研修会を実施しました。

○ 農業融資相談員とT A C^(注)との連携強化

J Aの信用担当職員と営農・経済事業職員を対象に「農業融資相談員・T A C連携強化セミナー」を開催しました。

(注) T A Cとは「地域農業の担い手に向くJ A担当者」の愛称です。

(4) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

J Aバンク新潟では、J A新潟中央会、J A全農にいがたなどと連携し、生産者・J Aと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	来場者数	内容
うまさぎっしり新潟 食の大商談会	平成24年 9月20日	N I C O、 新潟県、 県内金融 機関ほか	138 社	1,142 名	・2 J Aおよび4取引 先の出展支援 ・65件の商談が成立 (24年12月末時点)
情報誌 Sole!にいがた	平成22年度 に発行開始	新潟県 信連			四半期ごとに 約2万部を発刊

(5) 生産者と消費者をつなげる場の設置

J Aバンク新潟は、新潟県生活協同組合連合会、新潟県森林組合連合会、新潟県漁業協同組合連合会、新潟県漁業協同組合、新潟県酪農業協同組合連合会、J A全農にいがた、J A共済連新潟、J A新潟中央会との共催により、「第14回協同組合まつり」(平成24年10月28日、新潟市産業振興センター)を開催し、11,923名の方にご来場いただきました。

会場では県内農畜産物等の紹介・直売や県内農産物を材料とした食事の提供、ステージイベント等を実施しました。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク新潟は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取り組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク新潟では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

	平成 24 年度 実行件数	平成 24 年度 実行金額	平成 25 年 3 月末残高
就農支援資金	3	4	109
新規参入者経営安定資金	1	3	10
合 計	4	7	119

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク新潟では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 24 年度の農業者の経営改善支援等の取り組み実績】 (単位：先)

	期初経営 改善支援 取組先 A	Aのうち 再生計画を 策定した 先数 a	Aのうち 期末に債務 者区分がラ ンクアップ した先数 b	Aのうち 期末に債務 者区分が変 化しなかつ た先数 c	事業計画 策定率 = a / A	ランク アップ率 = b / A	
正常先①	60	10		48	16.7%		
要注意先	うちその他要注意先②	149	38	15	110	25.5%	10.1%
	うち要管理先③	5	1	0	3	20.0%	0.0%
破綻懸念先④	46	21	6	26	45.7%	13.0%	
実質破綻先⑤	72	18	13	42	25.0%	18.1%	
破綻先⑥	2	2	0	1	100.0%	0.0%	
	小計 (②～⑥の計)	274	80	34	182	29.2%	12.4%
	合 計	334	90	34	230	26.9%	10.2%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 24 年 3 月末時点でのものです。

(3) J Aバンク新潟講演会・セミナー等の開催

J Aバンク新潟では、農業者の方を対象とした 6 次産業化等の講演会や、融資先のお取

引先や系統団体を招いた情報交換会等を開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

【平成 24 年度 講演会・セミナー開催実績】

講演会名	参加対象者	参加団体数	主催	内容
第 25 回 信連融和会定例総会 (平成 24 年 7 月 23 日)	信連 融資取引先	84 社	新潟県 信連	2012 年の世界の行方 「リーダーのインテリジェンス感覚 を磨くために」
平成 24 年度 経済・経営セミナー (平成 24 年 11 月 20 日)	信連 融資取引先	53 社	新潟県 信連	「今後の世界・日本の経済動向につい て」
第 5 回 農業法人経営者 セミナー (平成 25 年 2 月 10 日)	県下農業法人 ・ J A	61 法人 18 J A	新潟県 信連	第一部「大規模水稲経営体の展開と地 域農業資源の管理－北陸水田地帯の 大規模経営体の取組から－」 第二部「農地集積に対する経営課題と 今後の展開について」

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J A バンク新潟では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J A バンク新潟では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 24 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 25 年 3 月末残高
農業経営負担軽減支援資金	32	169	3,535
畜産特別資金	1	45	54
土地改良負担対策資金	12	128	2,462
農業経営負担軽減支援資金	2	48	95
その他	1	2	373
合 計	48	392	6,519

(注)

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J A などの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J A などの融資機関において取り扱っています。

(2) アグリビジネス投資育成株式会社による出資等、官民ファンドの活用

J Aバンク新潟では、お客様の資金調達手段の一つとして、J Aバンクが創設した農業法人育成のための資本供与の仕組みである「アグリシードファンド」による出資を提案しています。

平成 24 年 10 月には、県内初の案件として、県内農業法人の資本調達ニーズに対応するため、3 百万円の出資を実施しました。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク新潟では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク新潟では、各種自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

また、平成 25 年 4 月には、豪雪や暴風により被害を受けられた農業者への支援として「平成 25 年豪雪災害等復旧支援資金」を創設し、対応しております。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A 名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 24 年度 豪雪災害等復旧支援資金	J Aバンク新潟	新潟県下 J A では、豪雪や暴風災害等による農業被害への対応として、J A グループの利子補給による低利資金を創設しました。	203	261

(2) J Aバンク食農教育応援事業の展開

J Aバンク新潟では、将来を担う子供たちの農業や自然環境、金融経済に対する理解を促進することを目的とした「J Aバンク食農教育応援事業」を展開しています。

主な取組みとして、J A等による子供を対象とした食農教育活動等への助成事業や、補助教材「農業とわたしたちの暮らし」(小学校高学年向け、特別支援学校生向け)などの無償配布を実施しています。小学校高学年向け補助教材は県下の小学校 511 校へ約 25,000 セット、特別支援学校生向け補助教材は県下の小学校・特別支援学校 24 校へ約 300 セットを贈呈し、各学校において授業等に活用されています。

また、県下 J A では、下表のような食農教育などの様々な実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JA新潟市	農業体験作文コンクール	管内小・中学生、特別支援学校生に対し農業体験学習「学校教育田」の実体験に基づいた作文コンクールの実施。
JAにいがた岩船	農業体験学習文集贈呈	学校田等農業体験学習に係る作業の様子などを題材にした作文の文集を制作し、対象の学校に贈呈。食への関心・食を支える農の役割などの教育。
JA中条町	学校田学習	JA管内の小学校において学校田を設置し、田植えや稲刈りなどを通じて農業に関心を持ってもらう。また、食農の大切さも学んでもらう。
JA新潟みらい	食農食育出前授業	JA管内の小学校を対象に、地場産食材を使った調理実習や食農教育を実施。
JA越後中央	農業体験スクール	JA管内の小中学校を対象に、学校教育田の田植え、稲刈りの指導を実施。
JA羽茂	保育園もちつき大会支援	保育園の園児を対象に、食農教育の一環としてもちつき大会の指導・支援の実施。
JA越後ながおか	キッズスタンプラリー	農業祭において、小学生を対象に地産地消や農業理解のためのクイズラリーを実施。
JA魚沼みなみ	グリーンスクール	JA管内の小学生を対象に、環境・食糧・農業への理解を深めることを目的に、農作業体験や調理実習などを実施。
JA十日町	どろんこキッズスクール	地元小学生5、6年生を対象に年間9回シリーズで農業・調理体験スクールの実施。
JA津南町	津南町農業体験学習推進協議会（どろんこ学習）	JA管内の小学校が行っている食農教育活動（花卉・野菜栽培学習、学校田）に対してJA津南町が指導、活動費助成を実施。
JAえちご上越	ちゃぐりん道場	JA管内小学生を対象に、枝豆やミニトマトの栽培、料理教室などの実施。

JA新潟みらい「食農教育出前事業」の様子



JA十日町「どろんこキッズスクール」の様子



(3) その他の地域貢献活動

J Aバンク新潟では、地域社会の一員として、文化、スポーツ、社会福祉、環境などの分野で幅広い貢献活動を展開しています。

○ 「エコ定期貯金」の取扱い

地域の自然環境保護を支援する取組みとして、受入額の0.1%相当額を公益社団法人に寄付し、郷土の自然環境保護に貢献する「エコ定期貯金」の取扱いを平成23年4月より開始しました。

多くのお客様から趣旨に賛同いただいた結果、平成24年度は9,577,959円を寄付することができました。

また、J Aバンク新潟県信連では以下のような取組みも行っております。

○ 公益信託「J Aバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」

新潟県内の社会福祉法人やボランティア団体等を助成対象者とし、ホームヘルパーの活動および当該活動を支援する設備等に対し助成しています。

○ 「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛

公益財団法人新潟県文化振興財団が主催する「松竹大歌舞伎」公演への特別協賛を行うとともに、文化交流の振興を支援する目的から、県内在住の留学生を公演に招待し日本の伝統文化に触れてもらいました。また、平成24年度は、県内に避難している東日本大震災被災者も招待しました。

○ エコキャップ運動への参加

ペットボトルのキャップを集め世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加しています。

○ 環境への取組み

J A新潟ビル内の照明をLEDに切り替えによる省エネ化、電気自動車等エコカーの業務車両への導入、クールビズの実施など、節電への対応や地球温暖化防止策に積極的に取り組んでいます。

以 上